## 平成 22 年度 RICC 利用報告書

## 課題名 (タイトル):

## Clustering or alignment of DNA sequence data

利用者氏名: 天野晃

所属: 筑波研究所 バイオリソースセンター 情報解析技術室

- 1. 本課題の研究の背景、目的、関係するプロジェクトとの関係: BRC における計算資源はそのリソース提供業務に充てられ、BRC としては研究用計算資源を持たないため、RICC を利用する必要がある。
- 2. 具体的な利用内容、計算方法: blast、独自開発の プログラム
- 3. 結果: プログラム開発のみ。
- 4. まとめ: 今年度はプログラム開発のみを行った。
- 5. 今後の計画・展望: プログラム開発を続けるとと

もに、計算のフェーズへ移行する。

- 6. RICC の継続利用を希望の場合は、これまで利用した状況(どの程度研究が進んだか、研究においてどこまで計算出来て、何が出来ていないか)や、継続して利用する際に行う具体的な内容:プログラム開発としては、並列化を導入する予定。
- 7. 一般利用で演算時間を使い切れなかった理由
- 8. 利用研究成果が無かった場合の理由: プログラム 開発に終始したため。